

X-MON4 NTP サーバ設定手順 (RHEL/Rocky9 系)

本文書は、Red Hat Enterprise Linux (以下 RHEL と表記)9 系へ X-MON4 をインストールした環境において、chrony を利用した時刻同期設定を行う手順です。

OS の基本的なコマンド操作についてはご理解のうえお読みください。

1、X-MON サーバへ接続

X-MON サーバに直接モニタとキーボードを接続するか、SSH クライアント等でログインします。

2、対象ファイルのバックアップ

次のように設定ファイルをバックアップします。

```
$ sudo cp -vip /etc/chrony.conf /etc/chrony.conf.org
```

3、設定変更

続いて、指定 NTP サーバを変更します。

pool から始まる既存行をコメントアウトし、ご希望の NTP サーバ情報を指定した行を追加・保存してください。

```
$ sudo vi /etc/chrony.conf
※変更前
pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
(略)

※変更後
# pool 2.rocky.pool.ntp.org iburst
pool [指定の NTP サーバアドレス] iburst
(略)
```

4、設定の反映

次のコマンドで chronyd を再起動し、変更を反映します。

```
$ sudo systemctl restart chronyd
```

エラーなくプロンプトが返れば、次のように状況を確認してください。

```
$ sudo systemctl status chronyd
```

5、時刻同期状況の確認

次のコマンドを実行し、指定のサーバが応答に含まれること、またいずれかの行頭に*が付与されていることをご確認ください。

```
$ chronyc sources
```

また、手動での時刻同期は次のコマンドを実行してください。

```
$ sudo chronyc makestep
```

次のコマンドで X-MON サーバの現在時刻が正しいかご確認ください。

```
$ date
```